

●本会議では、木曾川下流河川事務所より全国的に激甚化・頻発化している大規模水害の状況、災害対策基本法の改正内容等を情報提供するとともに、アドバイザーである東京大学大学院・片田敏孝特任教授より、広域避難の検討を進める緊急性や重要性、行政のあり方について、ご指導・ご助言をいただいたうえで、広域避難の検討を加速化させることを確認しました。

日時： 令和5年2月12日(日)13:30～14:45

会場： 海津市役所 4階 災害対策本部室

出席者： 木曾三川下流部 8市町村長

[海津市、愛西市、津島市、弥富市、蟹江町、飛島村、桑名市、木曾岬町]
東京大学大学院情報学環 片田特任教授(アドバイザー)
国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 ほか

内容： 木曾川下流河川事務所からの情報提供
意見交換

プロジェクト会議の様子



意見交換における主なご意見

- 個別避難計画の策定を進めていく中で、親戚が近くにお住まいでなかったり、近隣住民ではフォローできない様な、自分自身ではどうにもならない住民に対して、行政は責任を持ってフォローしなければならない。
- コロナ禍により市町村のイベントや自治会コミュニティが希薄になってしまったが、防災によりコミュニティを復活してこの問題に団結して取り組むという考え方もある。
- 課題山積みではあるが、非常に大変なプロジェクトのため今後も情報交換をしながら前に進んでいきたい。

第7回木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト 講演会開催

- 巨大台風が木曾三川下流部を襲った場合、高潮や洪水により広範囲かつ長期のわたる浸水が生じる恐れがあります。大規模水害から犠牲者ゼロを実現するために私達がすべきことについて、一般社団法人福祉防災コミュニティ協会・湯井恵美子氏と東京大学大学院・片田敏孝氏よりご講演いただきました。
- 地域住民の方々に加え、木曾三川下流部の8市町村長をはじめとする行政関係者も傍聴し、広域避難の必要性や、命を守るためにどのような行動をとったらよいかを学びました。
- また、講演の他に、流域治水の取り組み紹介や広域避難に係るパネルを展示、説明したり、高潮・洪水の被害や避難対応について視覚的に分かりやすく学習する、木曾三川下流域「動く」高潮・洪水ハザードマップを体験していただくことにより、防災意識の醸成を図る機会を設けました。

日時： 令和5年2月12日(日) 15時00分～16時30分

会場： 海津市OCT文化センター

講演①： みんなで助かる！福祉×防災×コミュニティ
個別避難計画から見る福祉防災の全体像
(講師)一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
福祉防災上級コーチ 湯井 恵美子 氏

講演②： 大規模水害からの犠牲者ゼロを実現するために何をすべきか
(講師)東京大学大学院 情報学環
特任教授 片田 敏孝 氏

来場者： 約 200 人

会場の様子



湯井恵美子氏
による講演



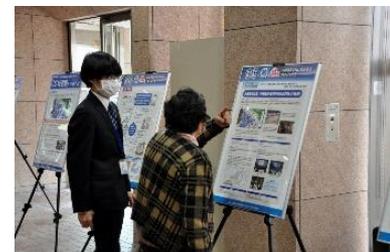
片田敏孝氏
による講演



横川真澄海津市長
による閉会挨拶



動くハザードマップの体験



パネルの展示・説明